

■省力化・省人化モデル枠の申請に係る留意点について

本枠における「人手不足に対応^①するため、企業全体として省力化・省人化の戦略^②を定めて実施する複合的な取組み^③」は、以下の点にご留意ください。

①「人手不足に対応」

人手不足の抜本的な解消に向けた生産性向上や人的リソースの最適化を図る取組みが対象です。

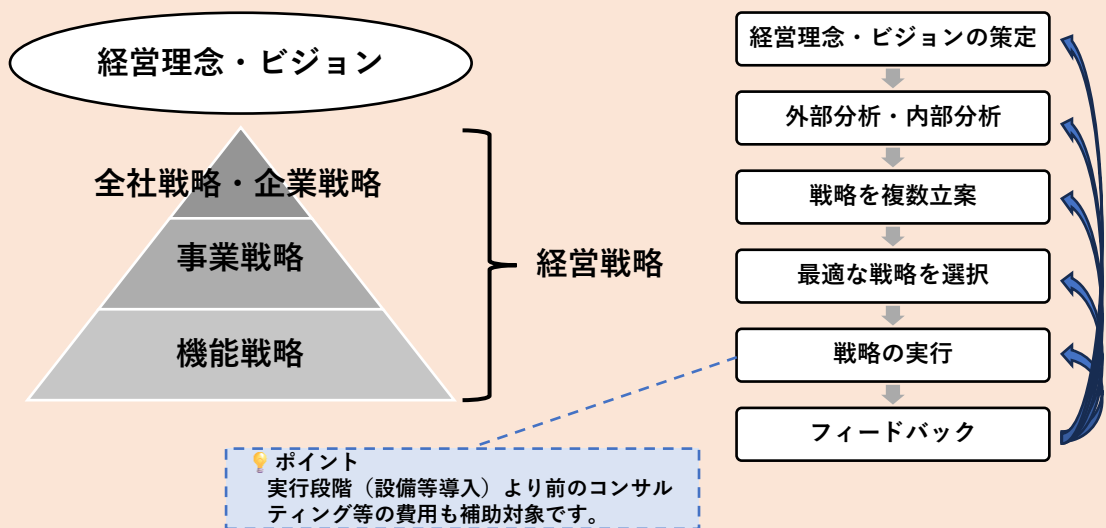
※主たる目的が事業拡大（販路開拓）である取組みは対象外です。

②「企業全体として省力化・省人化の戦略」

経営戦略と連動した全社的な取組方針が必要です。

⇒経営理念（ビジョン）を実現するための経営戦略と連動した省力化・省人化に係るビジョンや戦略が必要です。

そのためには、現状分析（外部分析、内部分析、業務プロセスの可視化・標準化、ロードマップ作成、KPI設定等）が必要不可欠です。



③「複合的な取組み」

複数の業務プロセスにおいて改善を行い、その影響が全社的に及ぶものであることが必要です。

⇒導入設備の検討から始めるのではなく、②を達成するために何が必要か、全体最適化のために何が必要か、といった視点で事業計画を検討いただくことが大切です。

ポイント 業務プロセスとは
会社全体の業務の流れ⇒「何をどのような流れでやるか」の全体設計
※業務フロー（チーム単位の業務の流れ⇒「どう実行するか」の具体手順）とは異なりますので、
しっかり区別してください。

審査にあたっては、募集要領との整合性だけでなくモデル事例として適切かについても重視しますので、申請計画策定に際しては十分ご留意ください。